



IR REPORT

第111期 報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

 日本輸送機株式会社



株主・投資家の皆様へ



取締役社長

二ノ宮 秀明

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社第111期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の決算を行いましたので、その概要をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

2012年3月期決算のポイント

1

過去最高の売上高を達成

2

海外事業が好調（黒字転換）

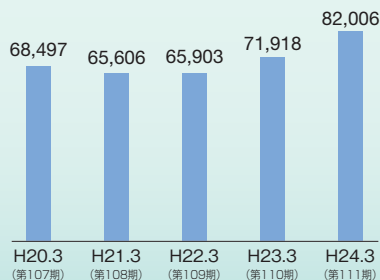
3

物流システム事業の営業損益改善

■ 財務ハイライト Financial Highlights

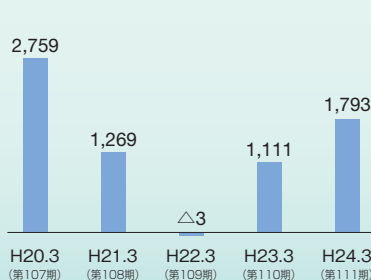
● 売上高

(単位:百万円)



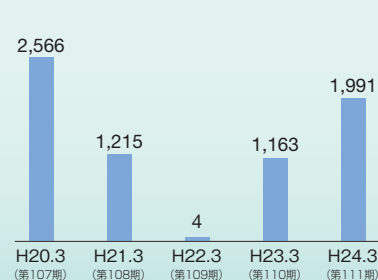
● 営業利益

(単位:百万円)



● 経常利益

(単位:百万円)



▶ 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国の経済は、前年度に発生した東日本大震災の影響やタイの大規模水害の発生、欧州債務危機の深刻化等の悪化要因がありましたが、年度前半では新興国向け需要、後半では震災からの復興需要に加え米国経済の回復や円安の進行等が下支えし、年初には落ち込みはありましたが、後半に掛けて持ち直してきました。こうした中で、フォークリフトの国内需要は震災の影響による減少から急速に回復に転じ、年度を通じては前年を上回るレベルで推移しました。また、海外では中国が年度後半に減速したものの東南アジア地域は堅調に推移しました。

こうした状況下、当社グループは、国内ではフォークリフト・物流機器における幅広い品揃えや全国に展開する販売網という総合力を生かして売上拡大に努め、海外では主力の中国で販売会社の再編やサービス工場の増強等で、事業拡大を図ってきました。

この結果、当連結会計年度の売上高は、前年度比14.0%増収の820億6百万円となりました。

利益面につきましては、操業度アップ等のコスト低減効果、海外市場向けの価格改定等の損益改善努力の積み上げなどにより、営業利益は17億9千3百万円（前連結会計年度比61.4%増益）、経常利益は19億9千1百万円（同71.2%増益）、当期純利益は8億6千9百万円（同106.2%増益）となりました。

▶ 対処すべき課題

当社グループは2010年～2012年の3カ年を期間とした中期計画を基本として、事業拡大、収益力の改善に組んで参りましたが、その後東日本大震災の発生によって生じた国内における様々な変化（震災からの復興、電力供給の不安定化、生産の海外移転の加速等）、海外での中国等新興国市場の急速拡大、円高の進行等があり、事業環境が大きく変化してきたため、これらを反映した見直しが必要と判断し、今般2012年～2014年の3カ年を期間とした新たな中期計画を策定しました。

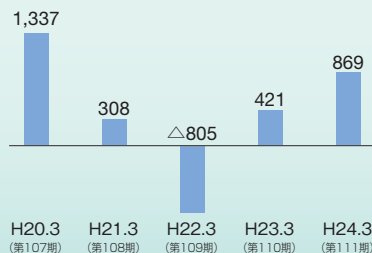
その内容としては、現下の厳しい環境の中でも更なる成長を目指すことを基本とし、「連結売上高1,000億円以上、連結経常利益50億円以上」を定め、課題を現状に即して再整理し、作成したものです。施策の主なポイントは下記の通りですが、当社グループの総力を結集して持続的な成長を実現するために、これらの施策を着実に実行して参ります。

- ①海外事業の倍増
- ②国内事業の収益性向上
- ③グローバル最適生産／調達体制の構築
- ④コストダウンの推進
- ⑤新技術・新商品開発への挑戦
- ⑥成長を支える人材の確保と育成

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

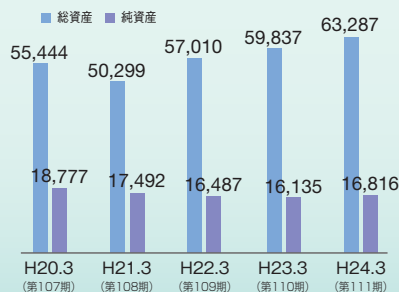
● 当期純利益

(単位:百万円)



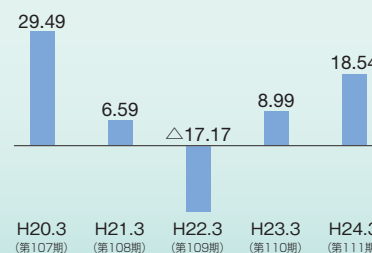
● 総資産・純資産

(単位:百万円)



● 1株当たり当期純利益

(単位:円)





セグメント別の概況

Operating Results

69.9%

売上高構成比

国内フォークリフト事業 〔主にフォークリフト〕

●バッテリーフォークリフト ●エンジンフォークリフト



国内の需要が堅調に推移していることによる新車販売の増加に加え、サービス売上高等も着実に伸びているため、当事業の売上高は前連結会計年度比10.1%増収の573億1千5百万円となりました。利益面では、新車価格が厳しい状況にあったものの、操業度アップによるコスト低減効果、サービス等の着実な増加が寄与し、営業利益は42億7千1百万円(前連結会計年度比3.3%増益)となりました。

売上高	(単位:百万円)
H22.3 (第109期)	49,250
H23.3 (第110期)	52,055
H24.3 (第111期)	57,315

12.3%

売上高構成比

海外事業 〔主にバッテリーフォークリフト〕

●バッテリーフォークリフト ●コンポーネント製品 他



国内からの輸出は販売価格の値上げにより改善を図っているものの依然として厳しい状況にあります。海外子会社の販売台数が伸びており、当事業の売上高は前連結会計年度比26.1%増収の100億7千6百万円、営業利益は2億5千9百万円(前連結会計年度は営業損失1億1千9百万円)となりました。

売上高	(単位:百万円)
H22.3 (第109期)	5,986
H23.3 (第110期)	7,993
H24.3 (第111期)	10,076

13.8%

売上高構成比

物流システム事業 〔無人搬送システム、自動倉庫などの物流合理化製品〕

●中高層ラック用フォークリフトシステム ●無人搬送システム ●自動倉庫
●電動式移動棚システム ●自走台車 ●モノレール(工作車) 他



物流システム事業は、各社間の競争が厳しい中、売上拡大に努めました結果、当事業の売上高は前連結会計年度比25.0%増収の113億1千万円、営業損失は5億1千万円(前連結会計年度は営業損失7億4千9百万円)となりました。

売上高	(単位:百万円)
H22.3 (第109期)	8,597
H23.3 (第110期)	9,047
H24.3 (第111期)	11,310

4.0%

売上高構成比

その他事業 〔巻取機製品および環境機器〕

●巻取機 ●環境機器(床面清掃機、床面洗浄機)



その他事業は、巻取機・環境機器が年度を通じて堅調に推移し、売上高は前連結会計年度比17.1%増収の33億4百万円となりましたが、営業利益は2億3千4百万円(前連結会計年度比10.8%減益)となりました。

売上高	(単位:百万円)
H22.3 (第109期)	2,069
H23.3 (第110期)	2,821
H24.3 (第111期)	3,304



連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当 期 H24.3.31現在	前 期 H23.3.31現在
【資産の部】		
流動資産	34,028	31,579
固定資産	29,259	28,257
有形固定資産	20,608	19,358
無形固定資産	328	345
投資その他の資産	8,322	8,553
資産合計	63,287	59,837
【負債の部】		
流動負債	33,708	32,526
固定負債	12,763	11,175
負債合計	46,471	43,701
【純資産の部】		
株主資本	16,824	16,096
資本金	4,890	4,890
資本剰余金	3,299	3,299
利益剰余金	8,666	7,937
自己株式	△ 31	△ 31
その他の包括利益累計額	292	191
少数株主持分	△ 301	△ 152
純資産合計	16,816	16,135
負債純資産合計	63,287	59,837

▶ 連結貸借対照表のポイント

資産は、現金及び預金の減少があったものの、売上高増加による売上債権の増加や国内販売子会社のリース・レンタル車両への設備投資による機械装置及び運搬具の増加などにより、632億8千7百万円となりました。

負債は、売上高増加による仕入債務の増加などにより、464億7千1百万円となりました。

純資産は、当期純利益の計上により、168億1千6百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当 期 H23.4.1～H24.3.31	前 期 H22.4.1～H23.3.31
売上高	82,006	71,918
売上原価	64,573	55,877
売上総利益	17,432	16,040
販売費及び一般管理費	15,639	14,929
営業利益	1,793	1,111
営業外収益	390	396
営業外費用	192	344
経常利益	1,991	1,163
特別利益	111	14
特別損失	89	355
税金等調整前当期純利益	2,013	822
法人税、住民税及び事業税	1,149	637
法人税等調整額	127	△ 43
少数株主損益調整前当期純利益	736	228
少数株主損失 (△)	△ 133	△ 193
当期純利益	869	421

▶ 連結損益計算書のポイント

売上高は、国内・海外とも売上が堅調に推移した結果、820億6百万円となりました。

経常利益は、売上高増加に加えて、コスト低減効果や損益改善努力の積み上げと為替差損の減少などにより、19億9千1百万円となりました。

当期純利益は、補助金収入1億1千万円及び法人税、住民税及び事業税の増加や、法人税率変更に伴う法人税等調整額の増加等により、8億6千9百万円となりました。



株式の状況&会社概要

Stock Information & Corporate Data

株式の状況 (平成24年3月31日現在)

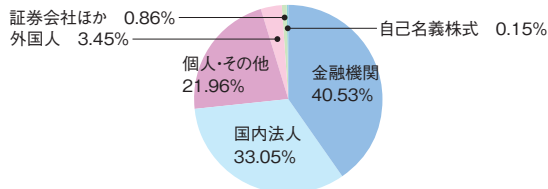
発行可能株式総数…………… 140,000,000株
発行済株式総数…………… 46,977,832株
当期末株主総数…………… 3,378名

大株主

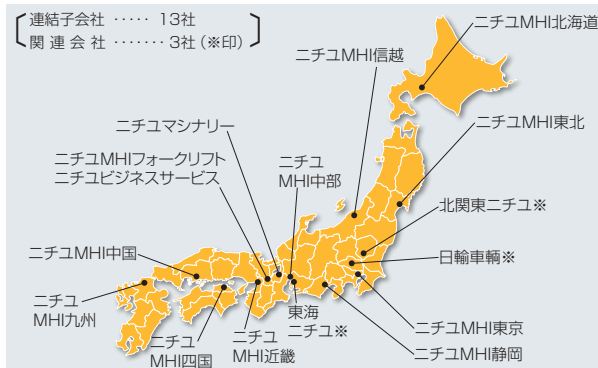
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱重工業株式会社	9,400	20.01
株式会社GSユアサ	4,701	10.01
明治安田生命保険相互会社	2,765	5.89
日本トラスティサービス信託銀行株式会社	2,672	5.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,542	5.41
東京海上日動火災保険株式会社	1,853	3.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,363	2.90
野村信託銀行株式会社	1,316	2.80
株式会社京都銀行	1,301	2.77
日本輸送機従業員持株会	1,001	2.13

(注)持株比率は、発行済株式総数に基づき算出しております。

所有者別株式分布状況



国内連結子会社・関連会社



会社概要 (平成24年3月31日現在)

社名 日本輸送機株式会社(NIPPON YUSOKI CO., LTD.)
創立年月日 昭和12年8月4日
資本金 4,890,526,626円

事業所

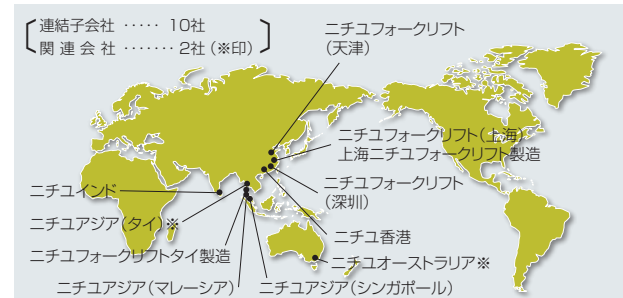
本社 〒617-8585 京都府長岡京市東神足2丁目1番1号
京都工場 TEL075-951-7171
滋賀工場 〒521-1334 滋賀県近江八幡市安土町西老蘇8-1
TEL0748-46-5511
オンライン 〒345-0023 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字本郷576
研修センター TEL0480-37-2108

役員 (平成24年6月28日現在)

取締役会長	裏辻 俊彦	取締役	各務 真規
取締役社長	二ノ宮秀明	取締役	林 久夫 (新任)
専務取締役	灰崎 恭一	※取締役	種村 茂
常務取締役	佐野 隆	常勤監査役	真中 芳美
常務取締役	保田 和男	常勤監査役	前嶋 弘
常務取締役	伊藤喜久夫	※監査役	清水 正
取締役	昇 祥一郎	※監査役	瀧本 慎吾
取締役	松本 仁志		

(注)※取締役は、社外取締役であります。※監査役は、社外監査役であります。

海外連結子会社・関連会社



- 1 ニチュフークリフト(天津)、ニチュフークリフト(深圳)は、ニチュフークリフト(上海)に統合し、前2社は清算手続中。
- 2 ニチュフークリフトタイ製造は、2013年4月から生産開始予定。

TOPICS

2011年度のニチュの事業活動



'11.06

ニチュ・無線フォークリフト情報端末「LX-30」を新発売。



'11.06

ブラッター
「新規ご契約キャンペーン」を実施。



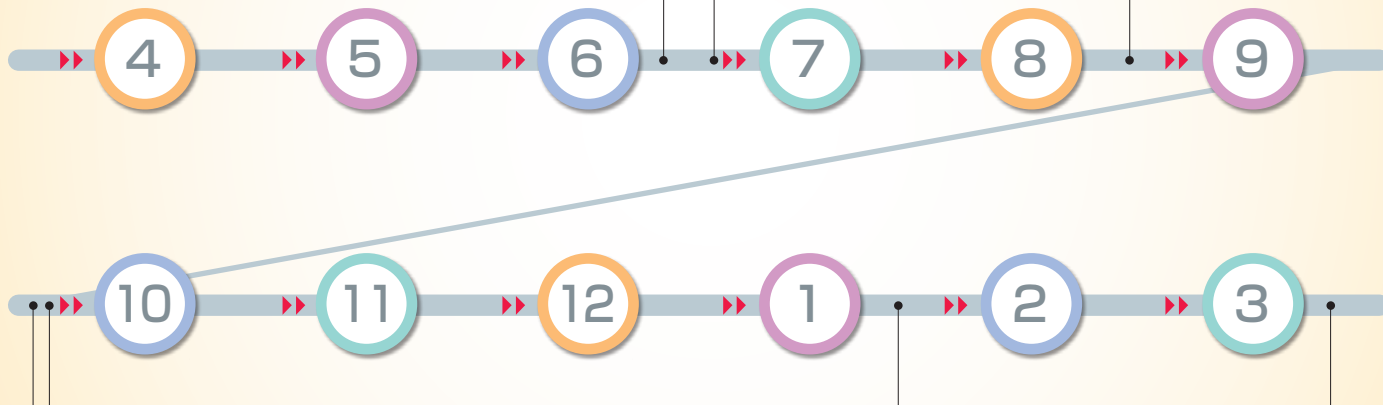
'11.06

第3回「医薬品、化粧品物流・搬送EXPO」に出展。



'11.08

海外の新工場建設のためタイに製造子会社 ニチュフォークリフトタイ製造を設立。



'11.09

「ロジナビ 自動間口検出システム」を大村紙業株式会社さまへ納入。



'11.09

画像誘導方式無人搬送車「ムジンカー-i」を新発売。



'12.01

「TRINCA(トリンカ)」をフルモデルチェンジ。



'12.03

東日本大震災からの復興。ニチュMHI東北株式会社 石巻支店 リニューアルオープン。



株 主 メ モ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel.0120-094-777(通話料無料)
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 Tel.0120-782-031(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7105/7105.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.nichiyunet.co.jp/>



トップページ



IRページ



最新トピックスをはじめ業績報告や会社情報などを詳しくご案内しております。

